

第1回専門部会 7月11日（水）9：50～11：50

1 議題

- ①配偶者暴力防止に関する北海道の主な取組
- ②北海道立女性相談援助センターの概要及び相談・一時保護の状況
- ③第4次北海道配偶者暴力防止及び被害者保護等・支援に関する基本計画（仮称）の検討

2 内容

- ①事務局からの説明事項
配偶者暴力防止に関する北海道の主な取組について説明。
第4次基本計画の「改定の考え方」「たたき台の体系・内容」を説明
 - ②女性相談援助センターからの説明事項
センターの概要、相談・一時保護の実績など説明。
 - ③審議
 - ・配偶者、パートナー、夫など散見している用語の統一、簡略化しすぎた取組内容の具体的な記述について検討。
 - ・若年層の予防啓発、被害者の早期発見、関係機関・団体等の連携協力、職務関係者の研修・人材育成に関する取組について充実に向けた検討。
- 〔意見：デートDV出前講座の再開、医療関係者対応マニュアルの再作成
全振興局関係機関連絡会議への民間シェルター参画の促進
対応に悩む相談員への臨床心理士等による研修、ネットワークづくり〕

第2回専門部会 9月27日（木）14：00～16：00

1 議題

- ①道内における配偶者からの暴力に関する状況
- ②第4次北海道配偶者暴力防止及び被害者保護等・支援に関する基本計画（仮称）の検討

2 内容

- ①事務局からの説明事項
「道内における配偶者からの暴力に関する状況」「第1回専門部会の議事概要」「第4次計画で使用する用語の考え方」「委員意見に関する検討状況」「第4次基本計画たたき台を修正した専門部会案」について説明。
 - ②審議
 - ・配偶者、交際相手、パートナーなど定義の仕方について検討。
- 〔意見：同性の相手など全ての人が包括することを基本計画に表すべき。
配偶者の定義の中に「同性の相手」を明記。〕
- ・若年層の予防啓発に関する効果的な取組について検討
- 〔意見：インターネットなど媒体の活用を明記するとともに、スマホ活用も検討。
若年層で広がっているSNSによる啓発も考えるべき。
DVと他部署の取組も合わせた情報発信が効果的である。〕
- ・「審尋」など理解が難しい専門用語のある箇所には、説明書きを加えるべき。

専門部会委員（五十音順）

氏名	所属	備考
酒井 謙	札幌弁護士会	
佐藤 久美	NPO法人日本BPW連合会札幌クラブ	公募委員
竹内 貴信	旭川市子育て支援部	
広瀬 玲子	北海道情報大学	審議会会長
山崎 菊乃	NPO法人女のスペース・おん	部会長